



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3601S		
科目名	危機管理実践研究 1		
担当教員	秦 康範		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	集中		
講義室		単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-E[学識・専門技能]専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP2-B[自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢]自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP5-J[創造的挑戦力・達成力]コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP6-K[表現力・対話力]文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L[協働力・牽引力]集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連携を強めることができる。 DP8-M[省察力]知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。</p> <p>■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連</p> <p>B1 自己啓発 (10%) E1 学識と専門技能 (30%) J1/2 継続的学修基盤、創造的思考 (30%) K1/2 ライティング・コミュニケーション、オーラル・コミュニケーション (10%) L1 チームワーク (10%) M1 統合的・応用的学修 (10%)</p>		
教員の実務経験	<p>国や地方公共団体の研究機関である人と防災未来センター (2002年～2005年) や防災科学技術研究所 (2005年～2007年) の研究員として防災行政に係る研修や研究に従事した経験から、2003年以降、国、地方公共団体の防災行政に係る審議会・委員会等を歴任して来ました。これらの業務を通じて得られた実務上の知見や経験を活かし、本演習を展開していきます (第1回～第15回)。</p>		
成績ターゲット区分	<p>■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>3 発展期 ～ 4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>災害マネジメント領域の専門科目を通じて学んだ知見を、具体的な問題に適用して、グループワーク、ディスカッション、ディベート、ロールプレイ等の双方向型学修技法に基づき再構成し、実社会において応用可能で再生産可能なスキルへと昇華することを目指します。座学と演習を通じて、災害に直面した組織の情報収集・分析および意思決定の難しさに関して体験的な理解を深めることが本科目の目的です。</p> <p>授業は対面で講義により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニング (遠隔授業) を取り入れる場合があります。</p>		

	<p>■キーワード：グループワーク、ディスカッション、災害マネジメント、災害リスク、図上演習</p>						
授業の趣旨	<p>■副題 都市が大災害で被災するとどうなるかを体感する</p> <p>■授業の目的 ・自然災害に対する都市の課題を体験的に検討し、都市が抱えている問題点についてハザード、曝露、脆弱性の視点で理解を深める。 ・ハザード、曝露、脆弱性の視点から、地域の災害リスクについて課題抽出ができるようになる。</p> <p>■授業のポイント 訪問先予定は、池袋防災館、そなエリア東京、江戸川区篠崎公園等を計画していますが、訪問先との調整によって変更する可能性があります。</p>						
総合到達目標	<p>■自然災害に対する都市の課題を体験的に理解し、都市が抱えている問題点についてハザード、曝露、脆弱性の視点から地域の災害リスクについて自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べることができる。</p> <p>・地震災害における都市の課題について説明できる。（第2回・第3回、第4回・第8回、第9回・第10回）</p> <p>・豪雨災害における都市の課題について説明できる。（第5回・第6回、第7回・第11回、第12回・第13回）</p>						
成績評価方法	<p>■授業参加度（50%）：適用ルーブリック B1・J1・K2・L1 （評価の観点）発表、発言、質問、意見交換など授業構築への参加度を評価します。（フィードバックの方法）授業の場でフィードバックします。</p> <p>■レポート（30%）：適用ルーブリック E1・J1・J2・K1・K2 （評価の観点）研修の内容を踏まえて、論理立てて自分の考えをまとめることができているか評価します。（フィードバックの方法）提出にコメントを付して返却します。</p> <p>■実技・パフォーマンス（10%）：適用ルーブリック K2 （評価の観点）構成・発表資料・発表のスキルを評価します。（フィードバックの方法）発表に対してコメントをします。</p> <p>■ポートフォリオ（10%）：適用ルーブリック M1 （評価の観点）学習の時間と内容等の記録用紙を回収し、適切な自宅学習がなされているかを評価します。（フィードバックの方法）提出へのコメント又は授業の場でフィードバックします。</p>						
履修条件	特にありません						
履修上の注意点	特にありません						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明）</p> <p>②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（60分） 本講座についてシラバスを通読しておく。</p> <p>④復習（180分） シラバスをもとに、本講座についての自分の学習計画を立てる。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（事前学修 I）</p> <p>②授業概要 地震災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明）</p> <p>②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（60分） 本講座についてシラバスを通読しておく。</p> <p>④復習（180分） シラバスをもとに、本講座についての自分の学習計画を立てる。</p>	2	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（事前学修 I）</p> <p>②授業概要 地震災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
回	内容						
1	<p>①授業テーマ ガイダンス（全体テーマおよび進め方の説明）</p> <p>②授業概要 本科目の概要、授業の進め方と評価および学習を行うにあたって留意すべき点などについて概説し、受講生が授業の準備を具体的に行えるようにする。（E1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（60分） 本講座についてシラバスを通読しておく。</p> <p>④復習（180分） シラバスをもとに、本講座についての自分の学習計画を立てる。</p>						
2	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（事前学修 I）</p> <p>②授業概要 地震災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1） 担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>						

3	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（事前学修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 地震災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
4	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（事前学修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 地震災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
5	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（事前学修Ⅱ）</p> <p>②授業概要 豪雨災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
6	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（事前学修Ⅱ）</p> <p>②授業概要 豪雨災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
7	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（事前学修Ⅱ）</p> <p>②授業概要 豪雨災害における都市の課題について理解し、自分の考えを述べ、他者との意見との比較でその長短を述べるができるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して授業に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分）</p>

	<p>その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
8	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、地震災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
9	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、地震災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
10	<p>①授業テーマ 地震災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、地震災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
11	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、豪雨災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
12	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、豪雨災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録</p>

	<p>をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
13	<p>①授業テーマ 豪雨災害における都市の課題について（現地研修Ⅰ）</p> <p>②授業概要 現地研修を踏まえ、豪雨災害における都市の課題を理解し、どのような対策がとられているか、どのような限界があるかを提示することができる。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 参考となる文献等を調べ、論点を踏まえ要約を作成して現地に持参する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
14	<p>①授業テーマ レポート発表</p> <p>②現地研修を踏まえ作成したレポートについて説明し、自分の考えを述べ、他者の意見との比較でその長短を述べるようにする。（B1・E1・J1/2・K1/2・L1・M1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） 発表の準備を進める。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） その他の参考文献を図書館等で探して読み、論点について考察する。学習の記録をつける。</p>
15	<p>①授業テーマ まとめ</p> <p>②授業概要 自然災害に対する都市の課題を理解し、ハザード、曝露、脆弱性の視点から説明できるようにする。（E1）</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて指導します。</p> <p>③予習（120分） これまでの授業を振り返り、授業テーマについて考察する。学習の記録をつける。</p> <p>④復習（120分） 学習の記録を確認して、学習の成果を振り返る。</p>
関連科目	<p>■専門展開科目（災害マネジメント領域） 災害と法（RMGT3401）、災害対策論（RMGT3501）、災害情報論（RMGT3502）、自然災害論（RMGT3503）、大規模事故論（RMGT3504）、地域防災論（RMGT3505）</p>
教科書	<p>■その都度指示します。</p>
参考書・参考URL	<p>■授業内で適宜紹介します。</p>
連絡先・オフィスアワー	<p>■連絡先：開講時に告知します。</p> <p>■オフィスアワー：掲示板にてお知らせします。メールにて事前にアポイントメントをとってください。</p>
研究比率	<p>■危機管理領域との対応 災害マネジメント70%；パブリックセキュリティ10%；グローバルセキュリティ10%；情報セキュリティ10%</p> <p>■危機管理学と法学のバランス 危機管理学80%、法学20%</p>

